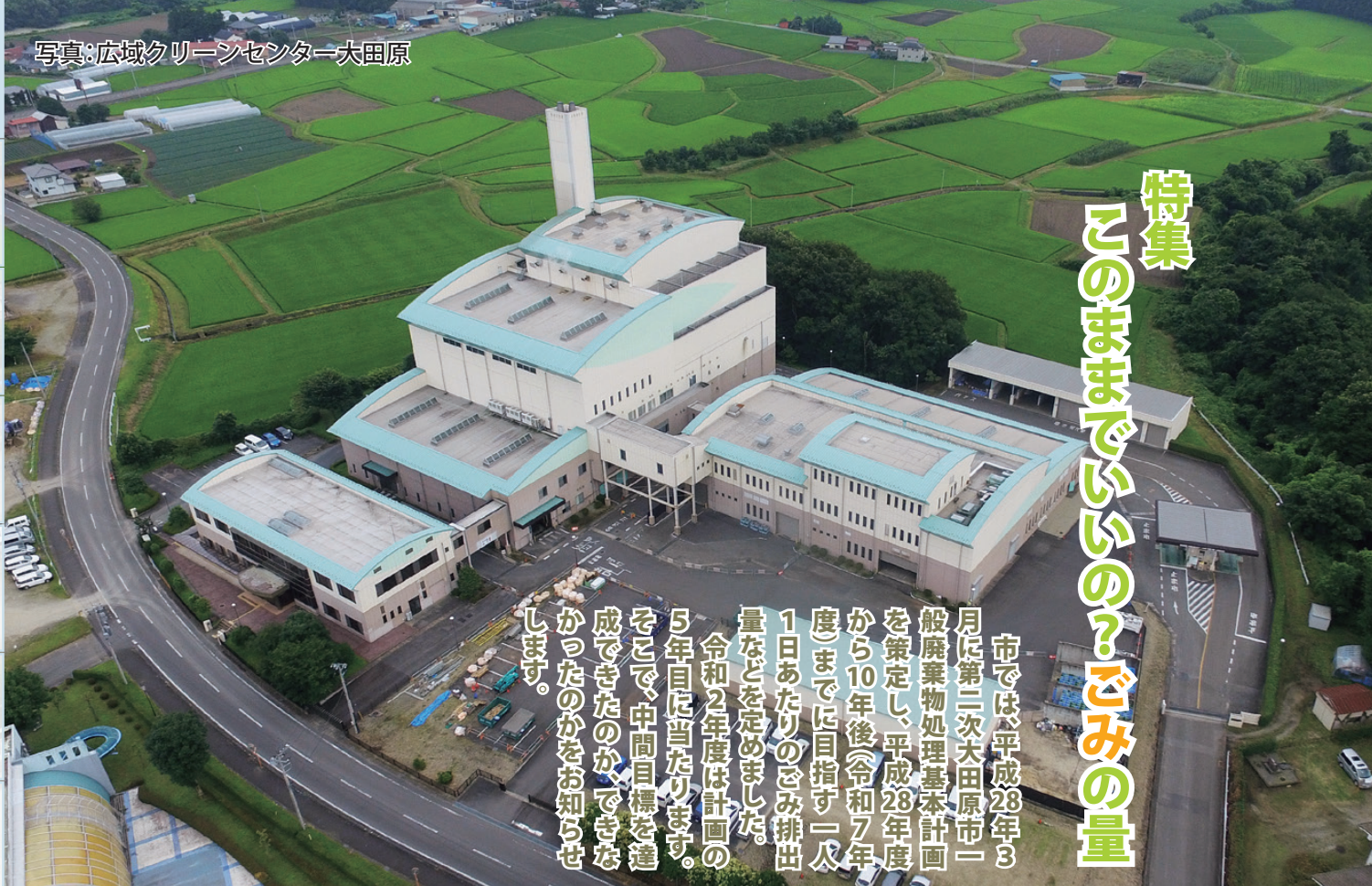




特集
このままでもいいの？ごみの量

市では平成28年3月に第二次大田原市一般廃棄物処理基本計画を策定し、平成28年度から10年後（令和7年度）までに目指す一人1日あたりのごみ排出量などを定めました。令和2年度は計画の5年目に当たります。そこで、中間目標を達成できたのか、できなかったのかをお知らせします。

第二次大田原市一般廃棄物処理基本計画の目標値と実績

項目	単位	平成26年度	令和2年度		令和7年度	
		基準値	目標値	実績値	結果	目標値
総排出量（予測）	t	24,417	22,591	23,072	達成できず	21,538
1人一日あたりのごみ排出量	g/人・日	883	856	863	達成できず	833
ごみ資源化率	%	16.2	17.5	12.0	達成できず	18.5

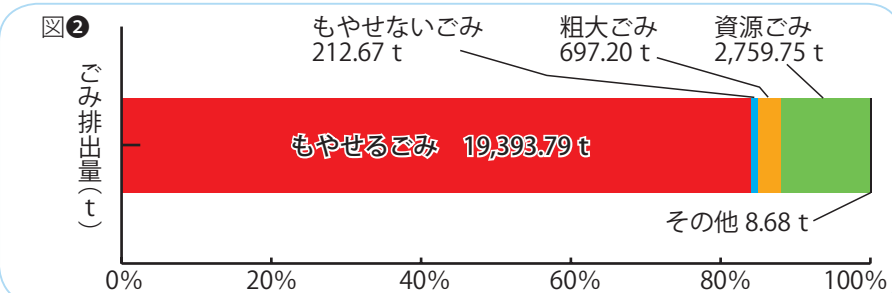
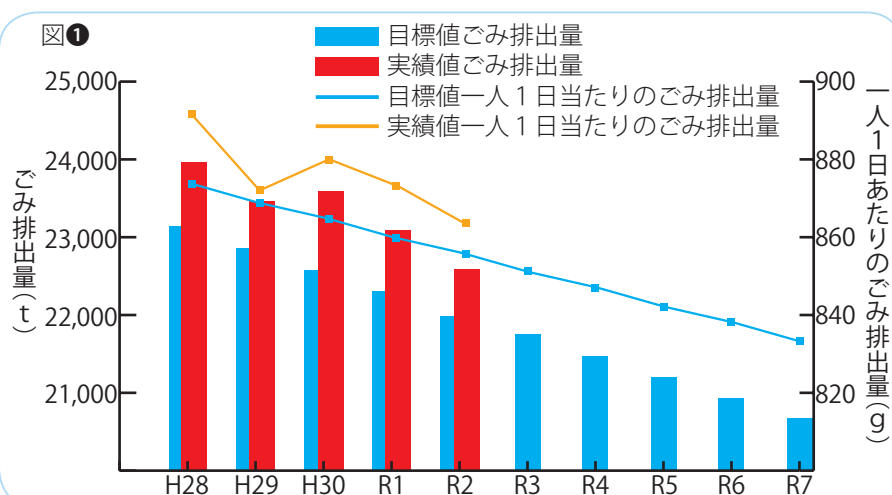
目標値のPoint！

- ① 一人1日当たり50g（卵1個分）のごみを削減
- ② 分別を積極的に行い、資源化率を18.5%以上

折れ線グラフ（図①）は、第二次一般廃棄物処理基本計画の目標値とごみ排出量の実績値を表したものです。ごみ総排出量と一人1日あたりのごみ排出量は、年々減少していますが、目標を達成できた年度はありませんでした。

また、市の一人1日当たりのごみ排出量と資源化率は、県内平均、全国平均以下（栃木県作成「とちぎの廃棄物 令和元年度版」より）であり、ごみが減らず、資源化も進まない状況です。

棒グラフ（図②）は、令和2年度のごみ排出量の内訳です。排出量が多い順は、もやせるごみ（約84%）、資源ごみ（約12%）、粗大ごみ（約3%）となっています。ごみ処理費用を減らすには、このもやせるごみをいかに減らすかが大きな鍵となります。



収集したもやせるごみ約200kgの中身を調べてみました



市では、年2回組成分析(もやせるごみの中身を調べる)を実施しています。令和2年度に実施した組成分析でも、もやせるごみのなかに資源ごみ(ダンボール、紙パック、ペットボトルなど)や食品ロス(手つかずの食品や、まだ食べられるが捨てられた食品)が多く見られました。

資源ごみをきちんと分別することや、食品ロスを少なくすることが、もやせるごみの減少に効果があると考えています。

▼もやせるごみに入っていた資源ごみや食品ロス(一例)

資源ごみ



ダンボール



雑誌類(雑紙)



ペットボトル



紙パック



雑誌類(雑紙)



雑誌類(雑紙)

食品ロス



ごみ袋の価格を改定することで対策

広報おたわら、ホームページ、よいちメールなどでごみの減量化やごみの分別についてお知らせをしてきましたが、ごみ排出量は減らない状況でした。そのため、令和3年4月よりごみ袋の価格を変更しました。具体的には、もやせるごみ袋ともやせないごみ袋の価格を値上げし、ペットボトル、かん類など、資源となるごみ袋の価格を値下げしました。これは、もやせるごみの中に入っているダンボールや雑紙、ペットボトルなどの資源ごみを分別することで、もやせるごみを減らし、ごみ処理費用を減らす目的で行ったものです。

このまま、ごみの量が減らないと、市では『ごみの有料化』を考えなくてはなりません。ごみの有料化にならないためにも、ごみの減量化にご協力ください。

Q A ごみの有料化とは何ですか？

ごみの有料化とは、家庭ごみに対して、処理費用の一部をごみ袋に上乗せすることによって、ごみを排出する時にごみ処理費用の一部を受益者負担の原則により負担してもらうことです。環境省の調査では、全国1,741市区町村のうち80.6%の1,404市区町村がごみの有料化を実施しています。

現在、もやせるごみ45ℓ 1ロールの希望小売価格は、255円ですが、ごみの有料化を実施した場合、その価格が約2倍(45ℓ 1ロール500円前後)になる可能性があります。

ごみの有料化の主な目的は、ごみの減量化(費用負担を軽減しようとするインセンティブ(動機付け)が生まれ、ごみの排出抑制が期待できる)や負担の公平性(ごみを少なく出す人は少ない費用で、ごみを多く出す人は多くの費用を負担する)、リサイクルの促進です。

Q A 何をすれば、もやせるごみが減るの？

次の方法を参考に、ごみの減量化に取り組んでください。

- もやせるごみに資源ごみ(新聞・段ボール・雑誌類・ペットボトルなど)を入れない。
- 古着やペットボトルなどは、本庁舎・各支所・公民館などに設置された拠点回収ボックスを利用する。
- 生ごみは、よく水を切ってからごみに出す(しぼった水分だけ、軽くなります)。
- 食品ロスをなくす(余分に食材を買わない、食べ残しをしないなど)。
- 詰め替え用品など、環境にやさしい商品を購入する。
- 物を買うときは、本当に必要かどうかを考えてから購入する。
- 不要になった物は、リサイクルショップに売却する。

資源ごみの拠点回収ボックスを活用しましょう

市内の公共施設などで、拠点回収ボックスを設置しています。無料で回収していますので、ぜひご利用ください。



- ①上段の回収ボックス
ブラザー、キヤノン、エプソン、日本 HP の 4 社の純正品が対象
- ②下段の回収ボックス
①以外のインクカートリッジが対象



キャップやラベルを剥がした状態の清涼飲料水や果汁飲料、酒類、牛乳・乳飲料、特定調味料などのペットボトル



(一社)JBRC 会員企業製のニカド電池、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池、モバイルバッテリー(会員企業製以外やメーカー名がわからないものは不可)

詳細はこちら
JBRC 公式ホームページ



小型家電



Tシャツ、ポロシャツ、ジャンパー、ジャケット、ズボン、ジーンズ、子供服、スーツ、ワイシャツ、セーター、トレーナーなど(和服、下着などは不可)

▲対象品目は12品目

携帯電話・PHS・スマートフォン、ポータブルカーナビゲーション、リモコン、電子辞書、デジタルカメラ・ビデオカメラ、ノート型パソコン、フラッシュメモリー、電卓、携帯型ゲーム機、ポータブルDVDプレイヤー、携帯型音楽プレイヤー、ACアダプター

▼拠点回収ボックスの設置場所

	小型家電	ペットボトル	古着	インクカートリッジ	小型充電式電池
本庁舎(生活環境課)	○		○	○	○
黒羽支所	○	○	○	○	○
湯津上支所	○	○	○	○	○
大田原西地区公民館		○	○		
大田原東地区公民館		○	○		
金田北地区公民館		○	○		
親園地区公民館		○	○		
佐久山地区公民館		○	○		

※利用時間は、各施設の開館時間内

ごみ分別の詳細については、「家庭ごみの出し方ガイド」や「おたわらクリーンナビ」「ごみ分別収集カレンダー」をご覧ください。

問生活環境課 本2階 TEL(23)8706

ペットボトルのみ回収

総合文化会館・生涯学習センター・暮らしの情報館・野崎地区公民館・旧黒羽川西地区公会堂・ピアートホール・シニアプラザ清流荘・須賀川出張所・湯津上地区公民館・佐良土多目的交流センター



おたわら
クリーンナビ